

平成25年度

埼玉県農地・水・環境保全向上対策地域協議会 優良事例表彰について

- | | | |
|---|-------------------|--------|
| 1 | 北根田んぼ環境保全会 | (鴻巣市) |
| 2 | 東大久保・農地・水・環境保全協議会 | (富士見市) |
| 3 | 大串水土里保全組合 | (吉見町) |
| 4 | 腰ノ根上区の環境を考える会 | (小鹿野町) |
| 5 | 小浜環境保全協議会 | (神川町) |
| 6 | 五字資源保全向上活動組織 | (熊谷市) |
| 7 | 前谷地区環境保全協議会 | (行田市) |
| 8 | 柴山活性化クラブ | (白岡市) |

わくわく北根によく来たね！未来につなげよう地域の和

(組織名) 北根田んぼ環境保全会 (市町村) 鴻巣市

1 地域の資源

水田	畑地	用水路	農道
45.2ha	19.1ha	19.7km	8.6km



豊かな農村環境と人材が財産です



NPO 法人の協力で田んぼの生き物調査を行いました

2 活動組織の構成員

- 農業者 70人
- 非農業者 40人
- 主な構成団体
 - 北根第1農事組合
 - 北根第2農事組合
 - 北根第1自治会
 - 北根第2自治会
 - 北根子供会
 - 北勢会

3 地域の様子と取組内容

- 本地域は鴻巣市の北東に位置し、北側は見沼代用水(星川)に面し、中央に野通川が流れている平坦地で緑に恵まれた地域です。JR鴻巣駅から6kmの位置にある準農村地帯ですが、近年地域の一部が市街化区域になり、区画整理事業により新住民の非農家が増加しています。一期事業では北根用水路(幹線)の管理を中心に取組を行い、ゲートの更新・改修・保守管理等を行い、地区の土木委員長を中心に用水の適正な配分と管理を行っています。同時に景観形成活動も、アジサイの植栽・コスモス祭り等を毎年継続して行っています。

4 主な活動内容（平成24年度）

準備・点検	計画・啓発	実践活動
施設の点検	第5回コスモス祭り	アジサイ植栽
揚水機の点検・設置 (バチカルポンプ)	泥んこ祭りを共催	北根用水路の更新



揚水機の点検・設置



第5回コスモス祭り



継続して行っているアジサイ植栽



向上活動 北根用水路の更新

5 取組の効果及び今後の展望等

「わくわく北根によく来たね！未来につなげよう地域の和」をスローガンに、農業者と非農業者の交流と連携をはかります。

また、「よりよい農村環境と人材は地域の共同財産である」事を再認識して、地域全体で共働りし、すべての世代がわくわくする地域の未来につなげる「和」を目指して、より良い農村環境づくりをめざしていきたい。

「菜の花フェスタ」をきっかけに

地域コミュニティの構築

(組織名) 東大久保・農地・水・環境保全協議会 (市町村) 富士見市

1 地域の資源

水田	畑地	用水路	パイプライン	排水路	ため池	農道
22.8ha	ha	3.9km	3.4km	km	箇所	4.0km



代表者説明



イベント内の熱気球

市制 40 周年の菜の花フェスタ会場

2 活動組織の構成員

上地区農家組合、中地区農家組合、修徳地区農家組合、荒川右岸用排水土地改良区、蛭沼第一揚水組合、南畑第一町会、老人会、子ども会育成会、東大久保消防団、JAミドルミセス、JAエルダミセス、母ちゃん達の田んぼ塾、特別栽培米研究会、東大久保スポーツクラブ

構成人数 230人 (うち農家 95人)

3 地域の様子と取組内容

地域の良質な住環境の向上のため、南畑第一町会を中心に荒川右岸用排水土地改良区や蛭沼第一揚水組合の土地改良団体との協力により、地域の関係者による共同活動を通じ、びん沼川西側周辺に存する農地・農業用水等の資源や、集落環境の良好な保全と質的向上を図り将来にわたる集落の環境の整備に取り組んでいます。

地域の活動として、農地の景観形成等をテーマとする計画の策定や、活動への参画を促す広報活動を行い、地域の特色を活かした先進地区を目指し、景観形成対策として、広範囲の農用地への菜の花の植栽(緑肥としての活用により環境への配慮)、水路敷地を利用したコスモスの植栽を行った。従来から継続を図り地域全体の菜の花フェスタなどのイベントを通じた交流の場を設け、関係団体の活性化を推進しており、各種研修会や農業に関する体験を実施するなど、環境改善の啓発活動も進めています。

4 主な活動内容（平成24年度）

準備・点検	計画・啓発	実践活動
農業用施設の点検、機能診断	年度活動計画の策定	菜の花の播種、種の収穫
遊休農地の発生状況の把握	菜の花の摘み取り、広報公示	コスモスの植栽
	地域住民との交流活動 (清掃活動)	



地域内の菜の花広報



菜の花フェスタ会場



各集落、地域住民による、水路補修・農道
法面の草刈・地域の清掃活動





翌年度用の菜の花の種採取



母ちゃん達の田んぼ塾講習会

5 取組の効果及び今後の展望等

本活動組織は、地域の優良な農地を将来にわたり継続させるため、ほ場整備の実施により整備した農業施設の補修・点検等に積極的に取り組んでいます。

活動をとおして、集落地域内の多面的機能の再考と地域住民の意識改革が図られており、継続した活動が期待できる。

また、地域コミュニティーの構築と農業の振興のため、「菜の花フェスタ」をきっかけに市民との交流活動も生まれるなかで、模擬店などを通じて地域農産物のPRと、特産品を利用した加工品開発など精力的な活動が図れた。

平成23年度からの「向上活動」において、水路改修整備を実施し、水田への送水機能が復活し、優良農地整備の推進が行われている。

再ほ場整備を契機とした地域資源の保全管理活動

(組織名) 大串水土里保全組合活動組織 (市町村) 吉見町

1 地域の資源

水田	畑地	用水路	パイプライン	排水路	ため池	農道
20ha	ha	5.4km	7.2km	km	箇所	7.0km



共同活動計画の策定（総会の様子）



カバープランツに覆われ維持管理された水路

2 活動組織の構成員

集落営農大串
大串上西集落
大串宿集落
大串毘沙門集落

3 地域の様子と取組内容

(1) 位置及び地形

本地区は、埼玉県のほぼ中央部吉見町の平野に位置する。

(2) 地域の概要と課題

- ・ 主な栽培作物は、水稻、いちご、小麦、大豆。
- ・ 生産基盤は、昭和4～8年に耕地整理が行われ、その後、平成17～22年度にかけて再ほ場整備が行われた。
この整備により、区画は10aから30aに拡大され、用排兼用の土水路からパイプラインによるかんがい方式となり、道路も拡幅したことで、農作業の効率化が図られた。
- ・ 集落の課題は、高齢化及び後継者の育成。
- ・ 基盤が整備されたことで、大型機械の利便性が高まり、担い手への農地の集積率は整備前の2割から整備後には8割まで集積が進み、平成24年には、集落営農組織が法人化した。

・農地は担い手に集積されたが、一方で地区内の農業従事者は減少したことで、耕作者の水利施設等の維持管理に関する負担が懸念された。

(3) 課題解消への取組

- ・平成20年度から農地・水環境保全向上対策事業を活用し、保全管理活動に取り組んでいる。
- ・水利施設等の維持管理を耕作者だけでなく非農家も含めた集落で関わるように取り組んでいる。

4 主な活動内容（平成24年度）

準備・点検	計画・啓発	実践活動
施設の点検・機能診断	活動スケジュール策定	草刈り、泥上げ 水路法面にカバープランツを植栽 異常気象後の見回り



カバープランツの植栽



雑草対策

5 取組の効果及び今後の展望等

- ・平成20年度からのカバープランツを植栽し、水路法面の約8割を植栽することができた。水路法面の雑草抑制や崩落防止につながり管理労力の負担軽減が図られた。また、地区は、景観も良好な農村環境となっている。
- ・カバープランツの植栽には、多くの労力が必要であり、耕作者と地域住民の共同で取り組んだ。この活動を通じて、集落内で農村環境について認識の共有が図られるようになった。
- ・すべての水路法面にカバープランツを植栽し、定着するように適切に管理を行っていく。

住みよい地域づくりを目指して

(組織名) 腰ノ根上区の環境を考える会 (市町村) 小鹿野町

1 地域の資源

水田	畑地	用水路	パイプライン	排水路	ため池	農道
2.36ha	5.04ha	2.0km	—km	—km	—箇所	3.0km



休耕田畑の草刈



景観形成 (菜の花)

2 活動組織の構成員

- 農業者 25人
- 非農業者 148人
- 主な構成団体
小鹿野12-2行政区

3 地域の様子と取組内容

本地域は、中山間地域に位置しており住民の高齢化や人口の減少に伴い、農地・農業用施設の維持管理の低下が進行しつつある。また近年、有害鳥獣の被害が多発しており豊かな農村環境も荒廃されている。

このような状況の中、地域住民が農地や農業用施設などを地域の重要な財産である事を認識してもらう必要があり、地域全体が参加する保安全管理活動を実施している。

この新たな地域活動の枠組みを構築し、住民一人ひとりが地域資源を保全し、農村環境に対する意識向上を図ることで、住みよい地域づくりを目指している。

4 主な活動内容（平成24年度）

準備・点検	計画・啓発	実践活動
施設の点検、機能診断	年度活動スケジュールの策定	農用地等を利用した農村 景観形成活動（菜の花）



用水の土砂上げ



遊歩道の草刈



用水路補修工事



用水路補修工事

5 取組の効果及び今後の展望等

農業者の高齢化や減少に伴い、農地・農業用施設の維持管理の低下が進行しているため、地域の住民へも地域の資源や財産として認識を高める必要がありました。そこで、草刈り作業・水路の泥上げ等、限られた農業者で行って来た作業についても、広く地域住民へ呼びかけ、新たな地域活動の一環として位置づけをしました。また、特筆ある活動として「施設の機能維持、長寿命化」の面から、地域内の水路を地域住民自らの作業で修繕を行うことにより、地域資源、維持管理の大切さを感じ、愛着を持つようになりました。

さらに、地域全体での話し合いが増えたことにより、脆弱化していた地域コミュニティの再構築につながっています。

こどもと共に農村環境を守る小浜

(組織名) 小浜環境保全協議会 (市町村) 神川町

1 地域の資源

水田	畑地	用水路	パイプライン	排水路	ため池	農道
20.83ha	0.52ha	—km	9.8km	7.3km	0箇所	9.03km



(農用地等を活用した景観形成活動)



(生物の成育状況の把握)

2 活動組織の構成員

- | | |
|---------|-------------------------|
| 小浜地区 | 活動のとりまとめ、事務を行う |
| 小浜茶飲み会 | 小浜地区の老人会で地域の知恵袋、植栽景観形成等 |
| 小浜地区自治会 | 植栽、景観形成、地域住民との交流活動 |
| 子供会育成会 | 子供たちの環境学習やボランティア活動の支援 |
| 自衛消防団 | 地域の防災、植栽、景観形成等 |

3 地域の様子と取組内容

小浜地区では農村環境保全に力を入れており、とりわけ生物の生育調査では地元子供育成会を中心に、地域の農業者や住民、行政が連携し、毎年恒例の子供祭りと併せて執り行われており、農村環境保全活動や地域イベントを通し、昨今希薄になりつつある地域住民のコミュニケーションを活性化させ、人も作物も育みやすい環境整備に尽力している。

4 主な活動内容（平成24年度）

準備・点検	計画・啓発	実践活動
・施設の点検、機能診断	・活動スケジュールの策定 ・行政機関と連携 (農用地等を活用した景観形成活動) ・地域住民等との交流活動 (生き物生育状況の把握) (地域内での塵拾い)	・きめ細やかな雑草対策 ・泥上げ (水路・側溝) ・農用地を利用した景観に配慮した作付け

5 取組の効果及び今後の展望等

小浜環境保全協議会は子供たちを将来の地域農業の担い手であると認識しており、子供たちに生き物調査やゴミ拾い活動、農業用施設の余剰地に景観に配慮した植栽などの地域の農村環境保全活動に積極的に取り組ませることにより、自分たちの地域・田園環境に親しみを持ってもらい、将来、担い手として地域を支える人物となるように人材育成に寄与している。

また、疎遠になりつつあった地域住民の交流が、当協議会の取組に参画するようになってからは活発となり、農村環境保全活動において、ゴミ拾いや水路の泥上げなどの活動に地域住民が誘い合わせて参加してくれる様にしたい。

竹炭でため池の水質浄化

(組織名) 五字資源保全向上活動組織 (市町村) 熊谷市

1 地域の資源

水田	畑地	用水路	パイプライン	排水路	ため池	農道
66.51ha	-a	20.2km	0km	-km	4箇所	4.8km



(手作りの炭焼き窯での竹炭作り)



(ため池へ竹炭の投入)

2 活動組織の構成員

相上自治会、玉作自治会、箕輪自治会、冑山自治会、小八林自治会
五大字水利組合

3 地域の様子と取組内容

- ・ 活動区域は、比企郡吉見町と接する熊谷市で最も南に位置する水田を主体とした農業地帯です。
- ・ 活動区域は、昭和45年以前の土地改良事業により10a及び30a区画で整備されています。
- ・ 農業者の高齢化や農業用施設の老朽化により、適切な維持管理の実施が困難になってきていることから、当対策を利用し非農業者の協力も得ながら、施設機能の維持や農村環境の向上を目的として事業の取組を開始しました。
- ・ 農道・水路の草刈、開水路の泥上げやため池の点検などの基礎活動を重点的に行っています。
- ・ 農村環境向上活動として、共同作業で造った炭焼き窯を利用し、地域にある竹を原料に竹炭を作り、ため池に投入し、藻や悪臭の発生を抑え水質浄化を行っています。

4 主な活動内容（平成24年度）

準備・点検	計画・啓発	実践活動
施設の点検 （4月）	年度活動計画の作成 （4月）	施設の草刈 （5月、12月） 炭焼（竹炭作り）の実施 （1月、2月）



（施設の点検）



（竹の切り出し）



（竹炭作り）

5 取組の効果及び今後の展望等

道路・水路等の草刈、開水路の泥上げ、ため池内の竹の切り出しなどの適正管理ための基礎活動で、非農業者への農業施設への関心が高まっています。

さらに、豊富な竹を利用して竹炭を作り、ため池に投入することで水質浄化が行われ、ため池の親水性が高まっています。

同時に、きれいなため池を守るという住民の意識が高揚してきています。

地域住民全員で守る花と緑の農村環境

(組織名) 前谷地区環境保全協議会 (市町村) 行田市

1 地域の資源

水田	畑地	用水路	パイプライン	排水路	ため池	農道
40ha	ha	Km	km	7.5km	箇所	19.4Km



施設の点検



花壇への植栽

2 活動組織の構成員

前谷自治会
前谷農事組合
前谷地区道路河川愛護会
前谷地区衛生協力会

3 地域の様子と取組内容

本地域は、行田市の南西部に位置し、昭和60年代より地域内の小学校の野菜、米作り体験の指導協力を行なっている学校との結びつきの強い地域です。

農業者の高齢化などにより、農村環境の維持管理が困難なことから、行政と地域が一体化した農村環境保全を目指し、平成20年より取組を開始しました。

本地区の特徴的な取り組みとして、道路余剰地を利用した花壇を作成し、子供会と協力しながら花の植栽を行なってまいりました。プランターでの花の全戸配布活動を経て、今年度からは小学校の野外活動の協力を始めています。地域内の子供会から学校教育との連携へと取組の輪が広がっています。

4 主な活動内容（平成24年度）

準備・点検	計画・啓発	実践活動
施設の点検・機能診断	年間活動計画策定 学校教育との連携	小学校の野外活動 ヒメイワダレ草の植栽 農用地を利用したレンゲ ソウの播種



小学校の野外活動



清掃活動の様子



レンゲソウの開花状況



ヒメイワダレ草の保安全管理

5 取組の効果及び今後の展望等

活動以前に見られた空き缶やペットボトルのポイ捨ては、花の植栽活動や看板の設置により、ほとんど見られなくなりました。また、子供達が植栽した花のことを自慢するなど、環境美化の意識が芽生えてきています。引き続き、学校教育との連携に力を入れ、水田での生き物調査や清掃活動を行っていく予定です。

みんなで守ろう ふるさと柴山

(組織名) 柴山活性化クラブ (市町村) 白岡市

1 地域の資源

水田	畑地	用水路	パイプライン	排水路	ため池	農道
18.1ha	39.3ha	km	4.2km	8.8km	箇所	9.2Km



(遊休農地に植栽された色とりどりのコスモス)

2 活動組織の構成員

柴山活性化推進協議会 柴山すずらん会 柴山婦人会 柴山友人会
柴山子供育成会 (子供会) 柴山祭り囃子保存会

3 地域の様子と取組内容

本地域は、市の西部に位置し、歴史的にも地域の史跡でもある「柴山伏越」や、地区のシンボルでもある「柴山沼」の恵みを受けた自然環境豊かな地域です。

しかしながら、過疎化や遊休農地が増加する傾向にあり、緑豊かな環境の保全、地域の活性化を図るべき活動を始めました。

農業用施設の点検、草刈などをはじめ、遊休農地を活用し、春にはポピー、秋にはコスモスを植栽し手作りの花まつりを開催しています。

また、田植え体験や、夏休みを利用して田んぼの生きもの調査を実施しており、緑豊かな環境や、地域に住む生きものたちを通して子供たちに農村環境の大切さを伝えています。

4 主な活動内容（平成24年度）

準備・点検	計画・啓発	実践活動
農業用施設の点検 機能診断	活動計画の策定 地域住民との交流活動 (ポピー・コスモス祭り) (田んぼの生きもの調査)	施設の保全管理、草刈り 景観形成活動（花の植栽）



(水路の草刈り)



(田植え体験)



(田んぼの生きもの調査)



(コスモスまつり)

5 取組の効果及び今後の展望等

花まつりなどのイベントを通して、都市住民との交流や子供たちとの交流も盛んになり多くの方々に、農村環境や農業用資源の保全活動への関心が広まるきっかけとなっています。

今後においても、これらの活動を通し、更なる地域の活性化や緑豊かな自然環境の保全活動を図っていきます。